

翁長知事も共産党本部にお礼参り

— 当選 9 日後に党本部で大歓迎を受ける —

幹部が出迎える写真を
ホームページに堂々掲載

共産党ホームページより



実は翁長知事も当選の九日（二〇一四年十二月二五日）後、東京代々木にある共産党本部を訪問、選挙応援のお礼参りを行いました。九日後というあまりの時期の速さに、翁長知事が如何に共産党を頼りにしていたかを伺い知ることが出来ます。

案の定、その後の選挙で翁長知事は共産党に完全に操られています。翁長知事肝入りの県議会会派「新風会」でも共産党の横暴ぶりに嫌気がさし、自民党に戻る市議も出て来たようです。

共産党は日本の暴力的転覆
目指す、政府が改めて認定

政府は三月二十日の閣議で、無所属参議院議員の質問に「日本共産党は現在でも日本政府の暴力的転覆を目指し、危険な団体を監視する公安調査庁の監視対象である」ことを明らかにしました。オウム真理教などもその調査対象です。スマイル路線の共産党の暴力的体質を示す出来事でした。



産経新聞三月二十三日付け

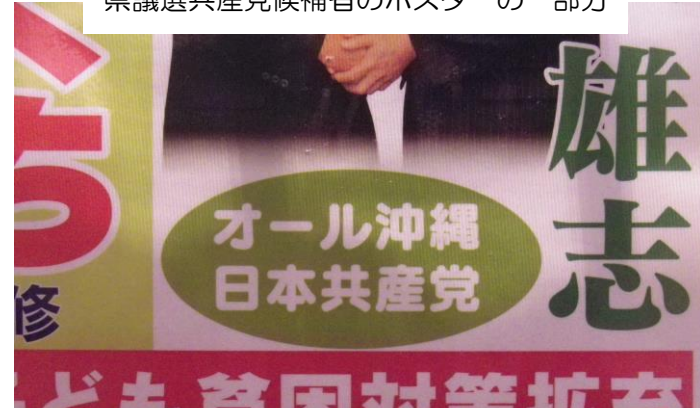
結局、「オール沖縄」とは何だったのか？

— 那覇市で「オール沖縄」県議が**共産党に移籍** —

県議選のポスターには

「**オール沖縄**」**共産党**と記す

県議選共産党候補者のポスターの一部分



昨年から沖縄で吹き荒れた「オール沖縄」の嵐は一体何だったのかという問いが現在、起きています。それは「オール沖縄」が共産党とイコールではないかという疑問です。

現在那覇市では、すべての共産党県議候補者のポスターに翁長雄志県知事と候補者のツーショットの写真が掲載され、「オール沖縄・共産党」との文字が記されています。

すでに共産色が濃くなり過ぎ、宜野湾市長選では大敗した「オール沖縄」から撤退する「新風会」の元自民党議員も出始めたようです。

投票した7万市民に説明
責任果たさず、**公約違反**？

また、「オール沖縄」と共産党の関係の深さを物語ることに、前回の県知事選と同時に行われた県議の補欠選に、「オール沖縄」から出馬し当選した候補が、今年二月三日、共産党に移籍したことです。あまり県内マスコミでは取り上げられませんでした。補欠選の際、その候補に投じられた七万人余の有権者に対し、その候補は何ら移籍の説明責任を果たしていません。これこそ、公約破りそのものです。



移籍した共産党県議（本人のブログより）